

エクセルの子会社化について



**SERENDIP
HOLDINGS**

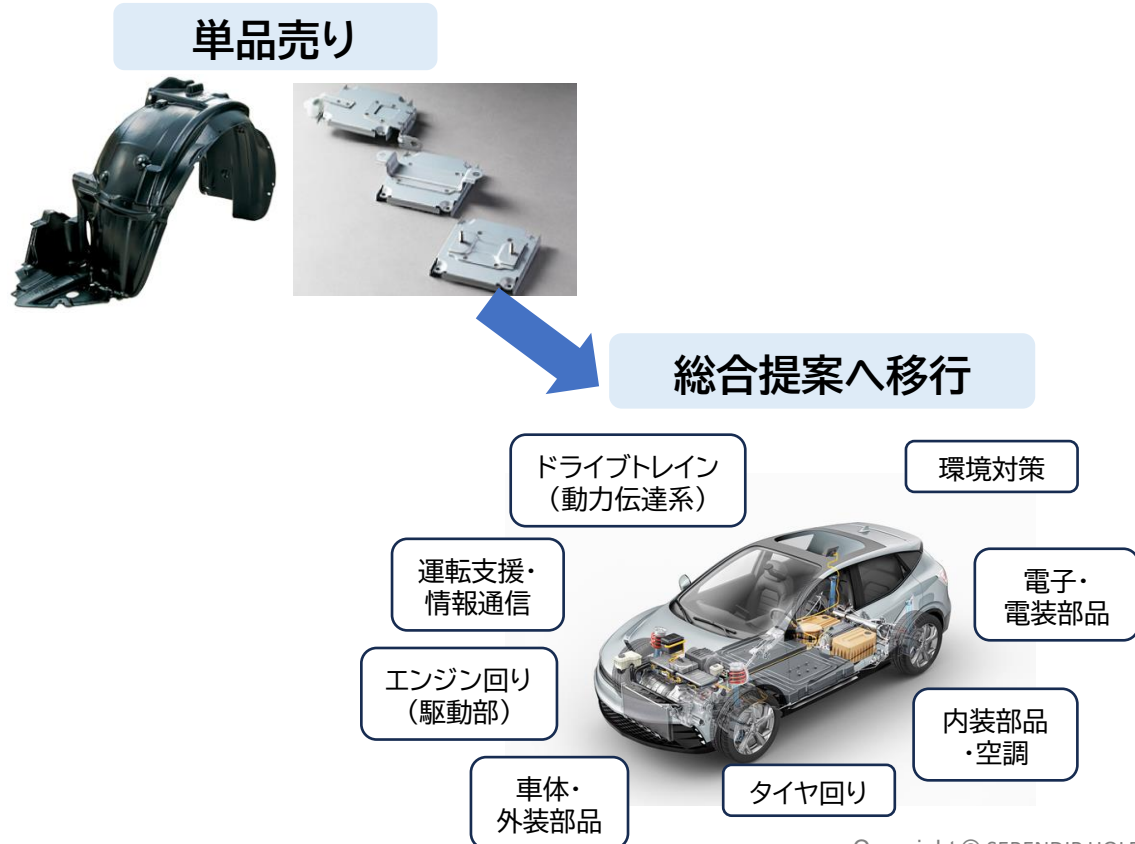
セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

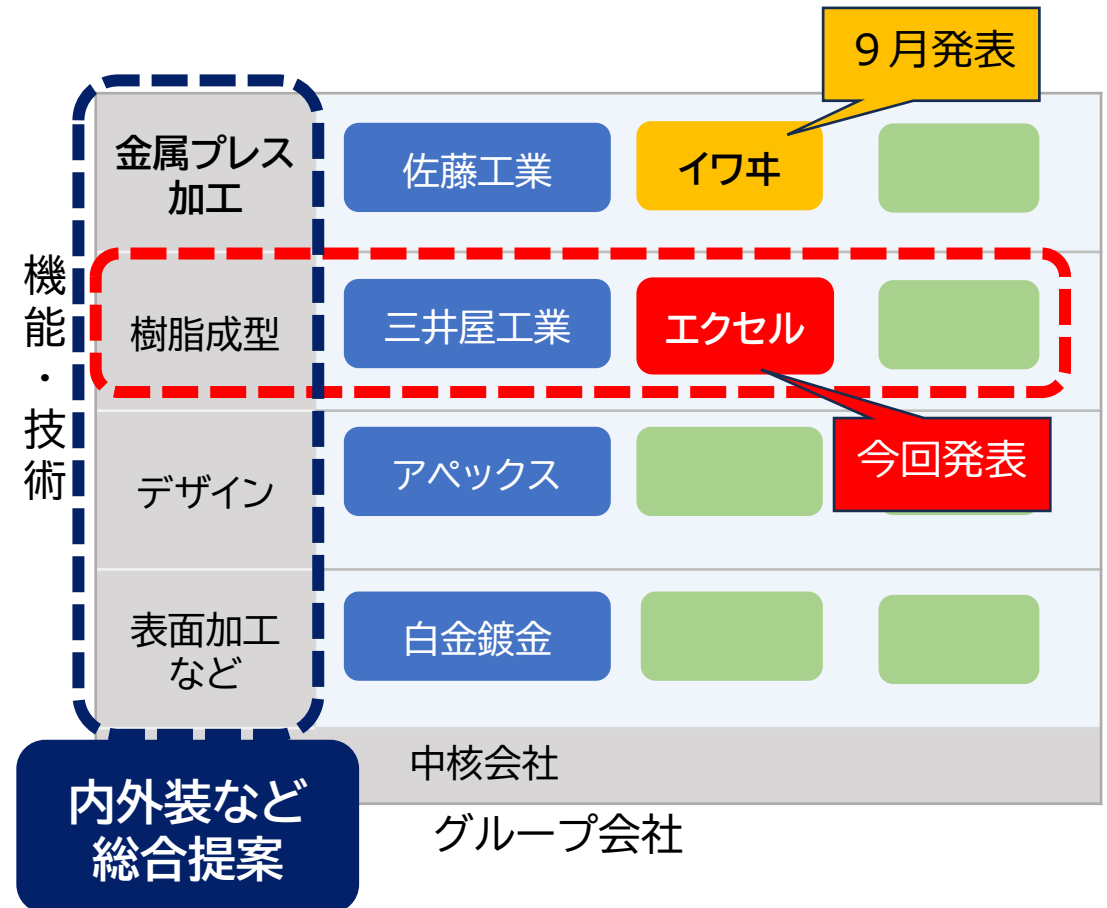
2024年10月23日

イワキに続き、エクセルのグループ参加により進捗するロールアップ型M&A

1. 単品売りから、機能・技術を軸に
総合提案できる体制へ移行



2. 機能・技術を軸としたロールアップ型
の事業承継M&Aを志向



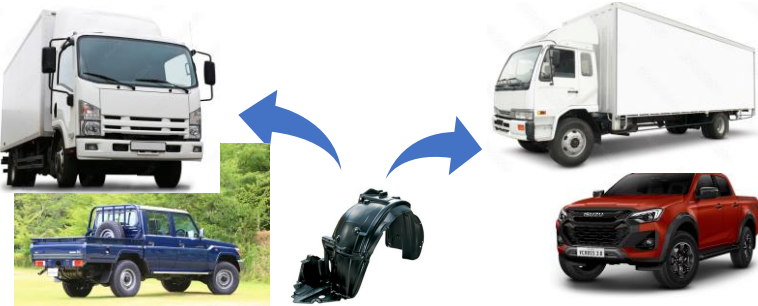
三井屋工業×エクセルで創り出す3つのシナジー効果

- 樹脂成型により軽量で静音性能に優れた自動車内外装品を開発製造する三井屋工業との親和性は高く、シナジー効果が期待できる

想定されるシナジー効果

1. トラックメーカー等への拡販

エクセルが得意とするトラックやピックアップトラックメーカーへ、三井屋工業の自動車内外装部品を拡販



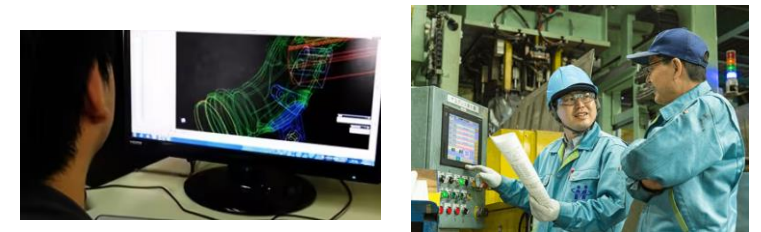
2. 樹脂材料の共同購買



原材料となる樹脂材料を共同購買することによるコスト削減

3. 新規技術・製品の共同開発

EVで期待される静音性能に優れ快適な車内空間を実現する、新たな技術・製品の共同開発



海外生産拠点を有するエクセルのグループ参加で、当社のグローバル化は非連続的に進化

北米・タイに生産拠点

1. インド・インドネシアへの物流に適した立地
2. 豊富で優良な顧客との取引実績

エクセル・グループのグローバルな生産体制基盤を活用した、自動車内外装品をはじめとする、セレンディップ・オートモーティブサプライヤーの海外販路拡大

セレンディップ・オートモーティブサプライヤー

SATO

MITSUIYA

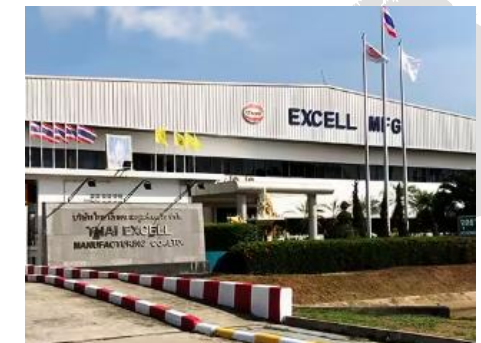
株式会社 イワキ

Excell

セレンディップ・チャレンジ500の成長戦略
『海外進出』を大きく推進する起点へ

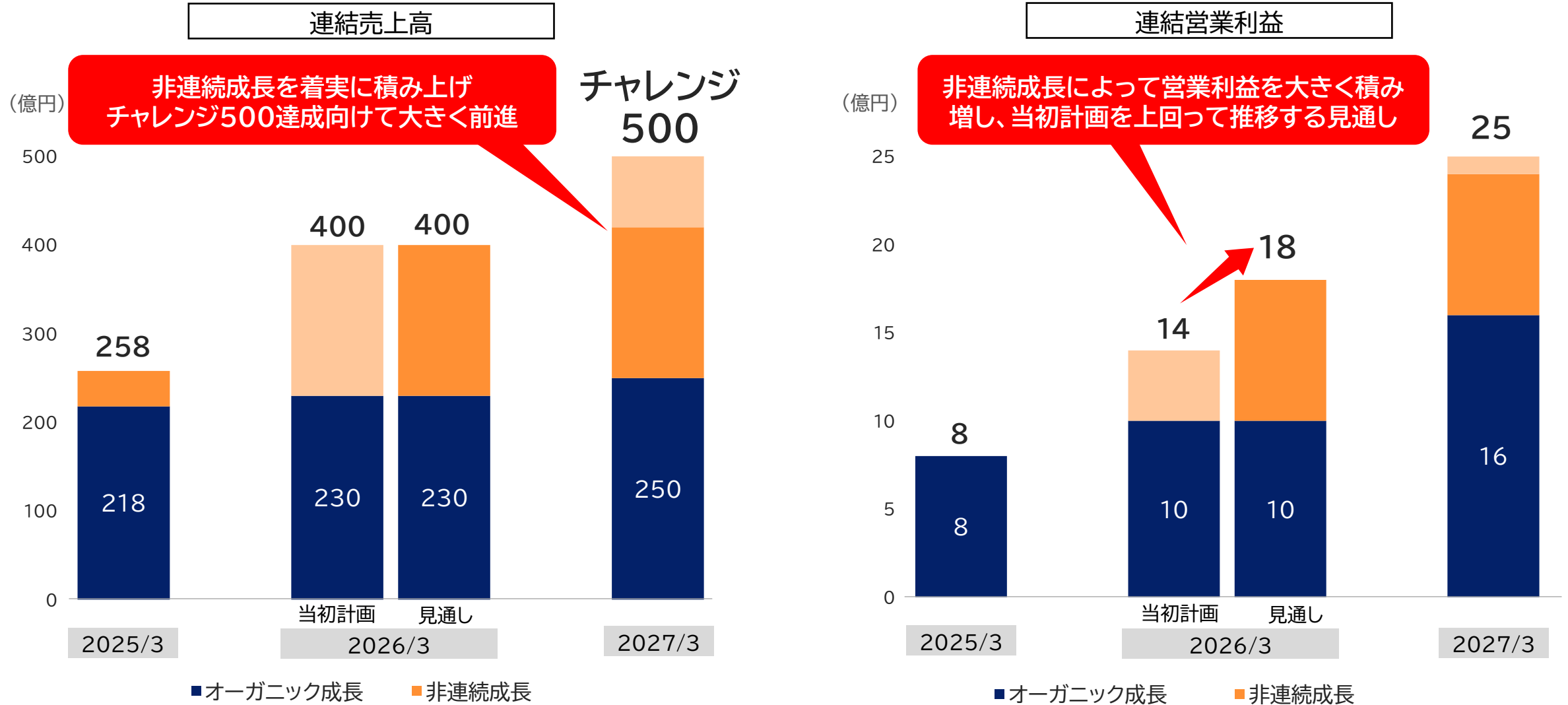


アメリカ現地法人



タイ現地法人

エクセルのグループ参加によりチャレンジ500達成に向けて大きく前進



注)上記の連結売上高及び連結営業利益は、各期中におけるM&Aの業績取込タイミング及び事業の精査により変化する可能性があります。

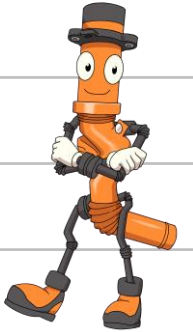
エクセル・グループ 概要



エクセル・グループは、高い設計(形状)自由度、性質の異なる樹脂材料の一体成形を特徴とする3次元ブロー成型をコア技術として、主に自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造をグローバルに行っております。その歴史は50年以上に及び、他社の追随を許さない高い技術力・開発力を有しております。

エクセル・グループの概要

代表者	代表取締役 中川 剛太
本店所在地	東京都中央区京橋2丁目10番2号 め利彦ビル南館7階
設立	1970年
従業員数	約450名 (2024年3月末)
売上高	11,184百万円 (2024年3月期)
事業内容	自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造
主要取引先	トヨタ自動車株式会社/いすゞ自動車株式会社/日野自動車株式会社/株式会社SUBARU/日産自動車株式会社 三菱自動車工業株式会社/マーレジャパン株式会社 等
グループ会社	エクセルホールディングス株式会社、エクセル株式会社、株式会社エクセル製作所、株式会社エクセルエンジニアリング、株式会社エクセル・ロジスティクス 〈海外拠点〉 EXCELL USA, INC.(北米)、 THAI EXCELL MANUFACTURING Co., Ltd(タイ) 等



Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。